



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 小菅 睦司

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,140	6.7	776	42.1	879	39.1	569	66.7
29年3月期第3四半期	34,807	△3.5	546	△8.5	632	△6.5	341	△54.0

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 1,082百万円 (126.2%) 29年3月期第3四半期 478百万円 (△43.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	19.70	—
29年3月期第3四半期	11.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	37,879	21,517	56.6	742.40
29年3月期	37,052	20,666	55.6	713.15

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 21,446百万円 29年3月期 20,602百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年3月期	—	4.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,600	3.1	1,138	29.2	1,200	22.6	780	36.2	27.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	28,965,449 株	29年3月期	28,965,449 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	76,862 株	29年3月期	76,519 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	28,888,771 株	29年3月期3Q	28,889,201 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、好調な米国経済や中国経済の成長を背景とした輸出の増加や企業の国内設備投資が高水準に推移したことを主要因として堅調に推移しました。

これら国内外の堅調な経済動向を背景に我が国の貨物輸送総量も増加基調となっておりますが、価格競争激化による収益の低迷およびトラック乗務員や構内作業員の不足等の構造的な課題が改善されておらず、依然として厳しい経営環境が続いています。

海外経済では、北朝鮮情勢と米国政治の混乱、中東でのイスラエル・パレスチナ問題やイラン国内での混乱等不安要素があるものの、米国経済は雇用と所得の改善による好調な個人消費と企業による設備投資の増加基調を背景に依然として景気拡大が続いており、また中国経済も個人消費に牽引される景気の持ち直しが続いており、我が国の輸出をとりまく環境は改善されています。

このような状況下にあつて、当社グループは第二次中期経営計画を着実に遂行し、企業価値の向上に努めています。

これらの結果、営業収益は、貨物輸送での既存顧客との取扱数量の増加、国際貨物での輸出取扱数量の増加、および流通貨物での国内野菜の取扱数量の増加や神奈川流通センターの本格稼働等を主要因として、前年同期比6.7%増の371億40百万円となりました。経常利益は、軽油価格の上昇等によるコストアップ影響が一部であったものの、営業収益の増加にともない前年同期比2億47百万円増の8億79百万円となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

#### 《貨物輸送》

当部門では、軽油価格の上昇や関西地区での物流センター統廃合にともなう一時費用の発生によるコスト増要因があったものの、既存顧客への営業拡販によりトラック貨物輸送と保管貨物の伸長が図れたこと、および機工部門で重量品搬入据付業務の大口取引を獲得できたこと等により増収増益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比5.5%増の183億43百万円、経常利益は前年同期比63百万円増の5億45百万円となりました。

#### 《潤滑油・化成品》

潤滑油部門では、京葉地区および関西地区での配送数量は好調に推移しているものの、中国・九州地区での配送費用等の経費増加により増収減益となりました。化成品部門では、一部顧客での配送数量の減少が続いており、また配送費用等の経費増加の影響もあり減収減益となりました。

これらの結果、潤滑油・化成品部門全体では、営業収益は前年同期比0.6%増の37億7百万円、経常利益は前年同期比26百万円減の93百万円となりました。

#### 《流通貨物》

当部門では、一般消費者向け生鮮輸入野菜の取扱量は依然として回復していないものの、昨年度開所した神奈川流通センターでのフローズンチルド流通加工業務、多温度帯通販事業および共同配送物流事業が順調に推移したこと、国産野菜の保管・配送業務も年後半からやや減少傾向にあるものの前年同期より改善されていること等から増収増益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比29.4%増の5億82百万円となり、経常利益は前年同期比23百万円改善の12百万円となりました。

#### 《国際貨物》

当部門では、国内主要顧客の堅調な輸出を背景に海上貨物輸送および航空貨物輸送の取扱量がともに増加し、海外事業でも丸運物流(天津)有限公司の重量品貨物輸送をはじめとした中国国内貨物輸送が好調に推移し取扱量が大幅に増加しました。

これらの結果、営業収益は前年同期比24.7%増の54億72百万円、経常利益は前年同期比2億5百万円増の2億22百万円となりました。

《石油輸送》

当部門では、国内石油製品需要の減少影響等による輸送数量の減少はあったものの石油基地等の受託業務関係収入が増加したことで増収となりましたが、労務費等一部経費の増加による影響で減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比1.4%増の89億98百万円、経常利益は前年同期比20百万円減の28百万円となりました。

当期のセグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	18,343百万円	105.5%	545百万円	63百万円
潤滑油・化成品	3,707	100.6	93	△26
流通貨物	582	129.4	12	23
国際貨物	5,472	124.7	222	205
石油輸送	8,998	101.4	28	△20
その他	36	113.3	△23	0
合計	37,140	106.7	879	247

- (注) 1. その他の事業は、損害保険代理業および事務代行業等であります。  
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は378億79百万円となり、前期末に比べ8億27百万円増加しました。

この主な要因は、納税等による現金及び預金の減少1億37百万円、受取手形及び営業未収入金の増加3億36百万円、有形固定資産の減少1億15百万円およびベトナムの在外子会社設立にともなう子会社株式取得や保有株式の評価益にともなう投資有価証券の増加7億59百万円によるものであります。

負債合計は163億61百万円となり、前期末に比べ23百万円減少しました。

純資産合計は215億17百万円となり、前期末に比べ8億51百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益5億69百万円を計上したこと、配当金の支払による減少2億31百万円、有価証券評価差額の増加4億46百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の55.6%から56.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では平成29年10月25日に発表いたしました業績予想とは変更ありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,569	1,432
受取手形及び営業未収入金	6,581	6,918
商品及び製品	2	2
原材料及び貯蔵品	33	57
その他	908	950
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	9,092	9,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,476	5,132
土地	17,132	17,131
その他(純額)	2,458	2,687
有形固定資産合計	25,067	24,951
無形固定資産	276	244
投資その他の資産		
投資有価証券	2,062	2,822
その他	690	636
貸倒引当金	△136	△133
投資その他の資産合計	2,616	3,325
固定資産合計	27,959	28,521
資産合計	37,052	37,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,081	3,942
短期借入金	3,305	3,456
未払法人税等	316	113
賞与引当金	599	326
その他	1,799	2,274
流動負債合計	10,102	10,113
固定負債		
長期借入金	1,687	1,440
再評価に係る繰延税金負債	1,937	1,937
退職給付に係る負債	2,210	2,262
役員退職慰労引当金	55	53
厚生年金基金解散損失引当金	45	43
その他	347	511
固定負債合計	6,283	6,247
負債合計	16,385	16,361

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	11,156	11,495
自己株式	△21	△21
株主資本合計	17,772	18,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	640	1,086
土地再評価差額金	2,480	2,480
為替換算調整勘定	△73	△49
退職給付に係る調整累計額	△217	△181
その他の包括利益累計額合計	2,829	3,335
非支配株主持分	64	70
純資産合計	20,666	21,517
負債純資産合計	37,052	37,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	34,807	37,140
営業原価	32,087	34,150
営業総利益	2,719	2,989
販売費及び一般管理費	2,173	2,213
営業利益	546	776
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	52	57
その他	65	74
営業外収益合計	124	135
営業外費用		
支払利息	25	22
その他	12	9
営業外費用合計	37	31
経常利益	632	879
特別利益		
固定資産売却益	47	43
その他	0	4
特別利益合計	48	48
特別損失		
固定資産除売却損	1	6
減損損失	37	1
ゴルフ会員権評価損	1	6
解約違約金	-	8
その他	-	5
特別損失合計	40	28
税金等調整前四半期純利益	641	900
法人税、住民税及び事業税	116	253
法人税等調整額	174	71
法人税等合計	290	325
四半期純利益	350	574
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	341	569



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	350	574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	446
為替換算調整勘定	△88	25
退職給付に係る調整額	32	36
その他の包括利益合計	127	507
四半期包括利益	478	1,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477	1,076
非支配株主に係る四半期包括利益	1	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。